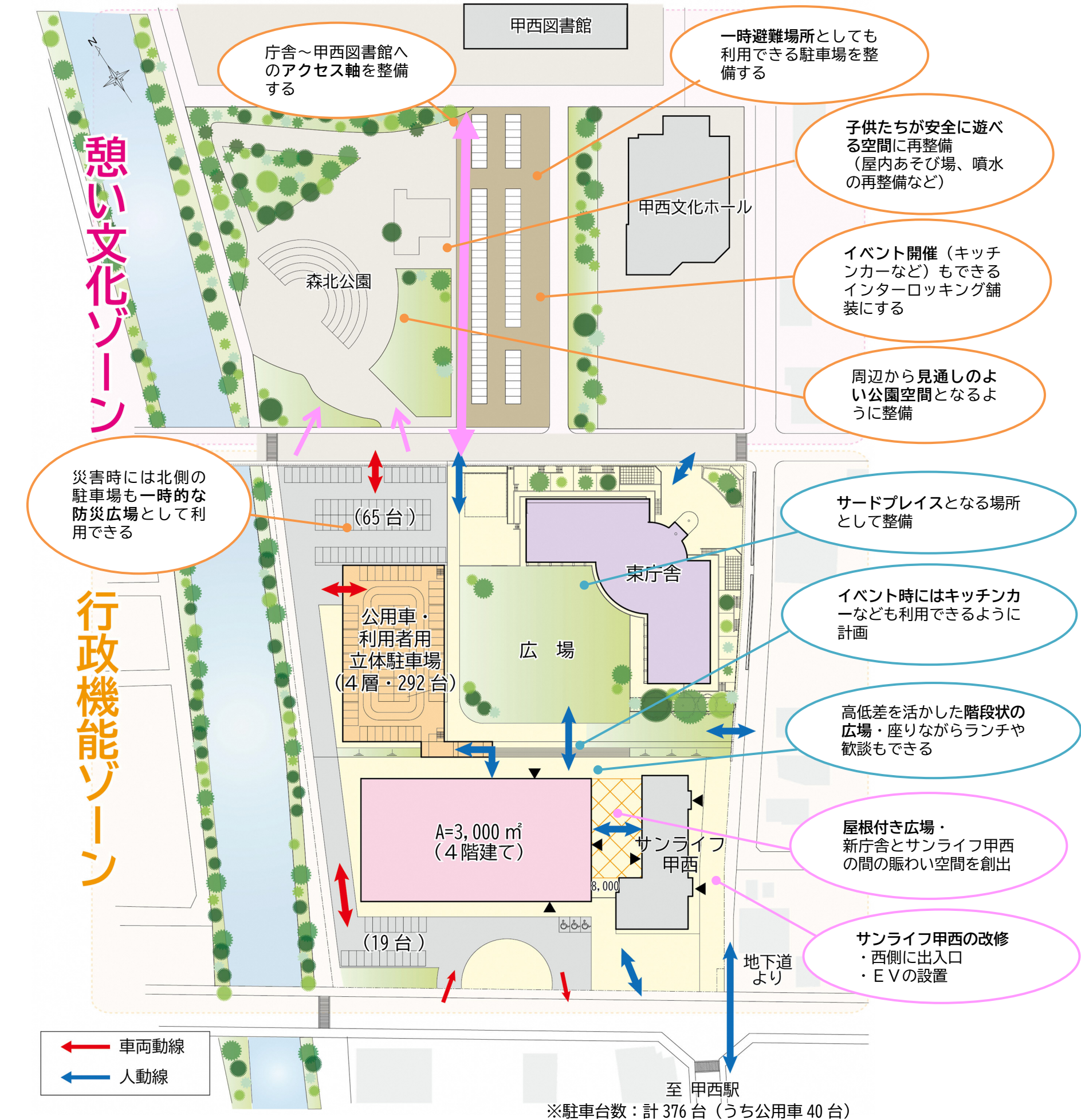


■資料 東庁舎周辺整備イメージ(案)



整備概要	
概要	・湖南中央消防署と社会福祉センターの跡地に新築棟を建設 ・駐車場は北側に立体駐車場+平面駐車場（駐車場 376 台・うち公用車 40 台） ・公用車駐車場は立体駐車場内
災害時のリスク	・浸水想定区域外
動線(人)	<甲西駅からの動線> ・地下道を通り、サンライフの北側や南側から車動線と交錯することなくアクセスできる。 <駐車場からの動線> ・立体駐車場からはスロープを利用しアクセスする（駐車場 2 階から庁舎 1 階は +1.2m 程度） ・立体駐車場内はエレベータを設置 ・車椅子利用者は庁舎に近接した駐車場から利用できる <北側からの動線> ・広場等を通り、車動線と交錯することなく庁舎にアクセスできる
動線(車)	・南側正面にはロータリーを計画 ・敷地の西側に駐車場への車動線を計画 ・北側は駐車場に入ってから南側につながるようにし、庁舎利用者以外の通り抜け抑制対策を行う
景観	・県道草津伊賀線に対し離隔が取れないため圧迫感を与える ・周辺の多くの低層建物との調和を考慮
施工性	・湖南中央消防署、社会福祉センター、社用車庫・水防倉庫との調整が必要 ・高低差に対し、造成工事等が必要となる可能性がある
県道からの視認性	・視認性あり（県道草津伊賀線に対して正面）
旧東庁舎との関係性	・旧東庁舎の利用も考慮し新庁舎とつながる広場も計画できる 【旧東庁舎の活用(案)】 ① モニュメント的な利活用 ・そのまま残す ・デザインや装飾部分を残す（アーチ屋根側面や階段のステンドグラス、外壁タイルや大理石などを新庁舎の一部に再利用） ② 市民のスペースとして利活用 ・耐震補強を行い利活用 ・イノベーション創出（インキュベーション施設、コワーキングスペース、シェアオフィス） ・ソーシャルキャピタル（地域コミュニティスペース・会議室など） ・民間投資（飲食、喫茶店、ショップなど）